

科目番号	12	科目名	近江学入門	
英文科目名	Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)			
大学・短期大学名	滋賀短期		大学	
連絡先	滋賀短期大学 教務課			
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124
担当教員	秋山 元秀		(学部 学長)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	121教室	会場	滋賀短期大学	
授業期間	2026年4月9日(木)～2026年7月16日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		20	%
	平常点(出席・授業態度)		40	%
	その他(小テスト)		40	%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
近江は「道の国」「商人(あきんど)の町」「魚米の郷」という3つの面から、その特色を説明できる。すなわち古代に生まれた東海道、東山道(のちの中山道)、北陸道という全国レベルの幹線路が縦横に走り、その交通が国の基盤を作った。そしてこの交通を利用した商業活動が盛んになり、全国を舞台に近江出身の商人が活躍した。かれらは故郷の地域発展に貢献した。琵琶湖を中心にした広い平野をもつ近江は、豊かな農業生産によって米どころとなり、琵琶湖と周辺河川の水産業とあいまって、生活基盤となる農村をつくりあげた。授業では、この3つのテーマをいろいろなエピソードをとりあげて、近江の歴史や地理をあまり知らない人でもわかりやすいように話していく。授業ではアクティブラーニングの手法を取り入れ、積極的な発言や討論ができるようにする。				
【到達目標】				
・大学の所在する滋賀県について親しみをもち、滋賀県のことに関心をもつことができるようになる。 ・近江の歴史的特徴と、そこではぐまれた多様な地域文化を知り、それが現在の滋賀県の基盤になっていることが理解できるようになる。 ・その上で、自分がよく知っている身近な地域が、滋賀県内でどのような位置を占めるか説明できるようになる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月9日	オウミ(近江・淡海)とはどんな意味?シガ(滋賀・志賀)とは?滋賀は全国的にはあまり知られていない。なぜ?		
2	4月16日	近江の歴史をざっと知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか?		
3	4月23日	道の国近江とは?近江を通っている街道について知ろう		
4	4月30日	東海道と中山道、その宿場、どんな町がある?どこまで行ける?		
5	5月7日	街道を通っていた人たちはどんな人?何をするために通っていた?		
6	5月14日	そこで出てくるのが近江商人。近江商人とはどんな人たち?		
7	5月21日	江州米というのはなぜ?近江の農業は、その他の産業は?		
8	5月28日	フナずしを食べたことありますか?そのほかに滋賀特有の食材や料理には何がある。		
9	6月4日	これから近江の各地を訪問してみよう。まず大津。大津はどんな町?		
10	6月11日	次に草津や守山など、湖南地域の町や村は?		
11	6月18日	湖西の町、坂本・堅田などへ行ったことがありますか?高島までは?		
12	6月25日	東の方へ行ってみよう。国宝彦根城を見たことありますか?彦根は城下町、ほかに城下町はある?		
13	7月2日	湖北へ行ったらまず長浜。長浜では何を見ればいいのか?		
14	7月9日	ちょっと奥まったところ甲賀。忍者の故郷?信楽焼はなぜたぬき?		
15	7月16日	ざっと見てきたけれど、皆さんの滋賀でおすすめはどこ?滋賀の魅力は何だろう。		
<教科書・参考書>				
【教科書】なし				
【参考書】授業中紹介する				